

第九十回帝國議會 會計法戰時特例廢止等に関する法律案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
政府出資特別會計法外二十一法令の
廢止等に関する法律案(政府提出)

昭和二十一年七月二十五日(木曜日)午
前十一時七分開議

出席委員

委員長 坂東幸太郎君

委員 田中 實司君

江部 順治君

北村德太郎君

松本 七郎君

松本 龍藏君

伊藤 恭一君

出席政府委員

大藏事務次官 上塚 司君

大藏事務官 江澤 省三君

大藏事務官 石原 周夫君

農林事務次官 大石 倫治君

本日ノ會議ニ付シタ議案

政府出資特別會計法外二十一法令の
廢止等に関する法律案(政府提出)

○坂東委員長 是ヨリ會計法戰時特例
廢止等に関する法律案ノ委員會ヲ開キ
マス、本日ノ日程ハ併シサレシタ政
府出資特別會計法外二十一法令の廢止
等に関する法律案デアリマス、議案全
部ヲ議題ニ供シマス、質疑ヲ許シマ
ス——竹谷源太郎君

○竹谷委員 職業軍人ヤ(項該當者ガ
恩給ヲ支給サレナイト云フヤウニ承ツ
テ居リマスガ、左様ナコトニナリマス
レバ、在職中ニ納付シタ國庫納金ト云
ヒマスカ、是ハ返還スベキモノト思フ

ノデアリマスガ、政府ノ方針ハ如何デ
スカ

○石原政府委員 御答ヘラ申上ゲマ
ス、御尋ネノヤウナ理窟デアリマ
ス、御承知ノヤウニ恩給ノ關係ニ
付キマシテハ聯合軍司令部カラ指令ガ
アル譯デアリマスガ、其ノ中ニモサウ
云フヤウナ趣旨ガ見エルノデアリマ
ス、是ハ恩給局長ナリ、或ハ内閣側ノ
適當ナ政府委員カラ御答ヘラスル筋合
ダラウト思ヒマス、私ガ申上ゲルノハ
適當デナイカモ知レマセムガ、サウ云
フ趣旨ニ於テ御取扱ニナルダラウト云
フコトヲ申上ゲテ置キマス

○竹谷委員 サウスルト、返還スル
ト云フ方針デゴザイマスカ、若シ今御
回答出來ナケレバ、後デ調ベテ御答ヘ
願ヒマス

○石原政府委員 サウ云フ方針デア
ルト存ジマス

○坂東委員長 一寸私カラ御伺ヒシマ
ス、此ノ法律ノ第五條ニ『食糧管理特
別會計法の一部を次のやうに改正す
る。第四條ノ三中(三十八億圓)を、五
十二億圓』に改める。』ト云フ、十四
億圓増シタ算定ノ基礎ハ如何デスカ

○石原政府委員 是ハ米穀ノ生産補給
金ト申シマスモノヲ從來一般會計カラ
出シテ居リマス、此ノ食糧買入特別
會計ニ於キマシテハ、本來ノ食糧買入
レル資金ダケヲ附ツテ居ツテ譯デアリ
マス、ソレヲ今同ノ改正ニ依リマシ
テ、補給金ヲ此ノ會計ニ屬サセルコト
ニ致シマシタノデ、其ノ米穀ノ生産補

給金ニ當リマス程度ノ金ヲコ、デ増額
ヲ致サナケレバ、相成ラヌト云フコト
ニナル譯デアリマス

○坂東委員長 續キテオ尋ネシマス
ガ、ヤハリ第五條ノ「政府ハ當分ノ内
本會計ノ決算上ノ損失ヲ補填スル爲メ
算定ノ定額所ニ依リ一般會計ヨリ本會
計ニ繰入金ヲ爲スコトヲ得」次ニ「政
府ハ本會計ノ負擔ニ屬スル證券ノ内四
十五億圓ヲ限リ一般會計ノ負擔ニ移ス
コトヲ得」此ノ四十五億圓ヲ限リト云
フ、此ノ算定ノ基礎ハドウ云フ風ニナ
ルノデスカ

○石原政府委員 彼ノ四十五億圓ト云
フ數字デゴザイマスガ、是ハ六月末ニ
於キマスル此ノ食糧管理特別會計ノ從
來カラ重ナツテ參リマシタ損失額ノ果
計ガ、大體之ニ近イ數字ニ相成ツテ居
ル譯デアリマス、其ノ數字ニ付キマシ
テハ、或ハ農林省側ノ政府委員カラ申
上ゲタラ宜シイカト思フノデアリマス
ガ、一應ノ概括ノ數字デハ四十三、
四億ニ相成ルノデアリマス、其ノ關係
ハ、既ニ生ジテ居リマス損失、ソ
レガ食糧證券ノ殘高ニナツテ居リマス
カラ、隨テ之ヲ一般會計ニ一應移シマ
シテ、從來ノ締結リヲ一應付ケヨウト
云フノガ此ノ項ノ意味デアリマス

ソレカラ其ノ前ノ方ハ先程申上ゲマ
シタヤウニ、米ノ生産確保ノ爲メ補給
金ヲ此ノ會計ノ負擔致スコトニナリマ
ス、隨ヒマシテ其ノ生産補給金ニ付キ
マシテハ、ドウシテモ赤字ガ出マス
ガ、結局其ノ赤字ヲ一般會計カラ埋メ
ナケレバナラヌ、唯ソコニ當分ノ内ト

云フコトヲ書キマシタノハ、一ツニ
ハ、赤字ヲ將來ズツト一般會計デ穴埋
メヲスルト云フコトデアリマス、別
途ニ此ノ經理ヲ致シマス趣旨、特別會
計ヲ存置スル理由ガ若干疑問ニナリマ
ス、現在一應斯ウ云フ事態ニ對處
シテ斯ウ云フ對策ヲ執ル、隨テ將來ノ
問題ハ又老ヘル時間ガアリ得ル譯デア
リマス、隨ヒマシテ當分ノ内ト云フコ
トニ致シマシテ、一應從來米ノ代金ハ
食糧管理特別會計デ支拂ヒ、生産價格
補給金ノ方ハ一般會計デ支拂ハレル、
斯ウ云フ事態ヲ一本ニ致シマシテ、此
ノ會計カラ金ヲ出ス、サウスルト赤字
ガ出マスカラ、ソレヲ一般會計カラ流
シ込ム、斯ウ云フ規定ヲ置イタ譯デア
リマス

○坂東委員長 此ノ四十五億圓、是ハ
赤字デスカ、ソレハ何時カラ何時マデ
デスカ

○石原政府委員 食糧管理ガ始マリマ
シテカラ、ズツト出デ參リマシタモノ
デゴザイマス

○坂東委員長 初メカラ六月マデデス
カ

○石原政府委員 サウデアリマス

○竹谷委員 第一條ニ依ツテ澤山ノ特
別會計ガ廢止ニナリマスガ、此ノ現
金、或ハ有價證券、動産、不動産、其
ノ歸屬ト申シマス、是ハドウナルノ
デアリマスカ同ヒマス

○石原政府委員 廢止ヲ致シマシタ後
ノ權利義務ノ歸屬ノ關係デゴザイマス
ガ、ソレハ十三條十四條ニ規定セラ
レテ居リマスノデ、ソレヲ御覽願ヒタ

イノデアリマスガ、十三條ニ於キマシ
テハ、今仰シヤイマシタヤウナ資産、
負債ト申シマスガ、持ツテ居リマスモ
ノ、或ハ其ノ權利義務、斯ウ云フモノ
ハ一般會計ニ歸屬ヲ致スコトニナリマ
ス、是ハ大體内地ノ會計デアリマス、
ソレニ對シマシテ、十四條ニ於キマシ
テ外地關係ノコトヲ一括シテ規定シテ
ゴザイマスノハ、先般モ申上ゲタコト
デアリマスガ、外地關係ノ諸般ノ締結
リト申シマスガ、調整ト申シマスガ、
サウ云ツタ問題ニ付キマシテハ、未定
ナ點ガ極メテ多イモノデゴザイマスガ
規定出來マセムノデ、追ツテ或ル程度
事態ガ明カニナルノヲ待チマシテ、勅
令ヲ以テ其ノ定メヲ致シタイト考ヘテ
居リマス

○坂東委員長 一寸伺ヒマスガ、今ノ
外地關係ノ方ハ、今ハ分ラナイカラ勅
令デ決メル、決メルニシテモ當然一般
會計ニ移スト云フコトデスカ

○石原政府委員 其ノ殘リマシタモノ
ハ一般會計ニ參ララウト云フコトハ今
カラ申セルト思ヒマス、併シナガラ向
フデ持ツテ居リマシタ所ノ、譬ヘテ申
シマス、權利トカサウ云ツタモノナ
ドハ、賠償其ノ他ノ關係ニ於テ、尙ホ
有效ニ殘リ得ルモノガアルカドウカト
云フコトハ疑問デアリマス、又義務等
ニ於キマシテモ、是ハ特別會計ノ債務
義務、サウ云ツタモノニハ限ラナイノ
デアリマスガ、ソレハドウ云フ定メヲ
致スカト云フコトハ將來ノ問題デゴザ
イマシテ、何カ殘ルモノガアレバ直チ

ニ持ツテ來ザルヲ得ナイト思ヒマス
ガ、權利義務ナルモノガドウ云フ結著
ニナルカト云フコトハ現在未定デア
ル、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○竹谷委員 十三條、十四條ニ依ツテ
一般會計ニ歸スルコトニナル權利義
務、資產ハ、色々ナ形デ管理シタリ、
處分シタリシナケレバナラヌト思ヒマ
スガ、其ノ據ルベキ法規ハ何ニ據ル
デスカ、ソレトモ一般ノ會計法規デヤ
ルノデスカ

○石原政府委員 御答ヘ致シマス、國
有財産ニ付キマシテハ自ラ國有財産法
ニ依ツテ規定セラレコトニナツテ居
リマス、其ノ他物品會計規則デアルト
カ、或ハ會計法、會計規則、サウ云ツタ
一般ノ不動産、動産ヲ處理致シマス各
ノ法規ニ從ツテヤル譯デゴザイマス
○坂東委員 竹谷君、農林省ノ政府
委員ガ參リマシタカラ

○竹谷委員 一ツダケ御伺ヒ致シマ
ス、國有林野ノ所在ト云フモノガ地方
のニ著シク偏在シテ居ルヤウニ思フ
デアリマス、私ノ手許ニ詳シイ統計モ
アリマセヌガ、昭和十四年ニ農林統計
トシテ發表サレタモノニ依リマシテ計
算ラシテ見マス、北海道ハ特殊事情
ガアリマスカラ、一應之ヲ除イタ全國
ノ山林ノ總面積ハ二千六百八十八千
歩ノヤウデアリマス、ソレニ對シテ國
有林ガ四百十九萬八千歩アツテ、
北海道ヲ除イタ全國積ノ二〇%ガ國有
林ニナツテ居ルコト云フ計算デアリマ
ス、然レニ東北六縣ノ國有林ノ面積ヲ
調ベテ見マス、東北六縣ニ於ケル山
林ノ總面積ガ四百五十三萬九千歩ニ
對シテ、國有林ハ二百五十二萬七千
歩アツテ四九%、約半分ノ國有林ニナ
ツテ居ルト云フ統計ガ現ハレテ居リマ

ス、ソレレ北海道ヲ除イタ全國ノ總面
積カラ、更ニ東北地方ノ總面積ヲ除イ
タ、其ノ數字ニ對シテ東北地方ヲ除イ
タ國有林ノ面積ノ比例ヲ取リマス、
一二%ニ過ギナイ、ダカラ東北並ニ北
海道ヲ除イタ全國各府縣ノ國有林ノ面
積ト云フモノハ、全面積ノ一割二分ニ
過ギナイデアリマスガ、東北地方ハ
全山林面積ノ五割マデ國有林デアルト
云フ現狀デアリマス、是ハ維新當時ノ
藩閥政府ノ時代ニ於ケル、東北地方ニ
對スル不當ナル壓迫カラ來タコトデア
ラウト思ヒマス、斯ウシタ國有財
産ノ不公平ナ分配、所在ト云フモノ
ハ、結局サウデナクテモ產業ノ非常ニ
萎靡沈滞シテ振ハナイ東北カラ、山林
ヲ皆國ニ取上ゲテシマフト云フコトニ
ナルト、一層經濟的不公平ガ嚴シク
現ハレテ來ルト思フ、古イ統計シカア
リマセヌカラ已ムヲ得マセヌガ、昭和
十一年ノ全國ノ全生産額ヲ一人當リニ
割ツテ見マス、一人當リノ生産額
ガ二百五十圓ニナツテ居リマス、然ル
ニ東北地方ノ生産額ヲ東北地方ノ人口
デ割ツテ見マス、一人當リ百三十九圓
デアリマシテ、全國平均デハ二百五十
圓デアリマスカラ半分強ノ收入シカナ
イ、サウ云フヤウニ、凡ユル方面ニ於
テ生産額ガ非常ニ乏シイ所ヘ持ツテ來
テ、農山村民ニ重要ナル山林ノ半分ガ國
有林ニナツテ居ツテ、地方民ノ利用、
收益ニナツテ居ラヌ、斯ウ云フ現狀デ
アリマス、之ニ對シマシテハ、今カラ
多分二十年位前ダラウト思ヒマスガ、
非常ニ問題ニナツテ、今ハ國庫カラ地
租附加稅ニ該當スル額ダケ國有林ノ所
在ノ市町村ニ對シテ交付シテ居ルヤウ
ニ承知致シテ居リマスガ、併シナガラ
縣ニ對シテハ無論サウ云フ附加稅相當

額ノ交付ガナイヤウニ思ヒマス、尤モ
税金ハ大シタ問題デハナクテ、結局民
有デアルカ、國有デアルカニ依ツテ、
其ノ地方民ノ經濟的潤ヒニ非常ニ差異
ガアルデアリマス、山林ト云フモノ
ハ全部全國の國有ニ引直シテシマツ
テ、之ヲ國家並ニ國民ノ福利増進ニ使
ハウト云フノナラバ分リマス、ケレド
モ、經濟的不公平等、慘メナ
慘憺タル狀況ニアル東北ニ國有林ヲ多
ク持テ、サウシテ一層經濟的不壓迫ヲ
加ヘルト云フコトハ、新憲法ノ趣旨カ
ラ言ヒマシテモ、甚ダシク不公平等、不
公平デアルト思ヒマス、全部國有ニス
ルナラバソレデ宜シイデアリマス
ガ、然ラザルモノトスルナラバ、私有
ヲ認メルト云フコトデアリマスナラ
バ、之ヲ公平ニ分配スルコトガ經濟ノ
民主化ノ趣旨ニ副フモノデアルト思ヒ
マスガ、之ニ對スル政府ノ御考ヘヲ承
リタイト思ヒマス

○大石政府委員 只今竹谷君ノ御質問
ハ、頗ル詳細ニ調査ニ基カレタモノデ
アリマシテ、御尤モデアリマス、東北
ハ何故ニ斯ク國有林ガ今日多ク偏在シ
テ居ツタカト云フコトハ、竹谷君ノ御
話ノ如ク、維新當時ニ於ケル藩閥關
係ノ政治的ノコトモ勿論アリマス
ガ、當時東北ノ人々ガ公課ヲ非常ニ恐
レタト云フ點モ、東北ノ民有タルベキ
山林ガ國有ニ編入セザレタ一ツノ原因
ヲ成シテ居ルモノト存ジマス、永年ノ
習慣ニ依ツテ、林產物ノ根本ノ收入ハ
別ト致シマシテモ、或ハ下草刈トカ枝
拂ヒトカ云フヤウナ、山ニ入ツテ其ノ
山ヲ利用スルコトハ許サレテ居ツタノ
デアルケレドモ、税金ヲ負擔スルコト云
フコトハ非常ニ恐レテ居ツタ、當時ノ
東北人ノ政治的ノ目覺メガ少カツタト

云フコトモアリマセウ、當時ノ藩閥マ
中心トシタ政治力ガ、直グ自分ノ家ノ
前ノ小サイ山マデモ國有林ニ編入シテ
シマツタト云フコトハ、爭ハレナイ事
實デアリマシテ、サウ云フ關係デ今日
全國ノ四十幾「パーセント」ト云フ大
キナ國有林ガ東北ニ偏在シテ居リマ
ス、ソレガ爲ニ東北ハ經濟的不壓迫ヲ
被ツタト云フ點ニ付キマシテモ、全然
之ヲ否定スルコトハ困難デアラウト存
ジマス、併シ御話ノ如ク、日本ニ於ケ
ル山林ヲ悉ク國有ニシテ、今日ノ國有
經營ノ線ニ沿ハシメルト云フコトハ大
キナ問題デアリマシテ、今ノ所、政府
トデアリマス、此ノ點ハ今後問題トシ
テ行キマスコトハ大イニ研究ノ必要ガ
アルト存ジマス、又昭和十一年ノ統計
ニ依ラレタト云フコトデアリマス、尤
モ正確ナル統計ハ近年アリマセヌガ、御
承知ノ通り、當時ノ東北ハ實ニ悲慘ナ
ル經濟壓迫ヲ受ケテ居リマシテ、之ヲ
關西、關東ニ比較致シマス、如何
ニモ別ノ國デモアルカノヤウニ政治力
ガ乏シクツタデアリマス、隨テ山林
ノ所謂拂戻デアルトカ、或ハ縁故拂下
デアルトカ、色々ナル問題モ起リ、東
北地方ノ山林開放ノ聲モ相當起ツタノ
デアリマシタケレドモ、今日マデ實現
シナカツタノハ、政府ノ都合上萬已ム
ヲ得ザルモノガアツタカモ知レマセ
ヌ、併シ今日ハ、山林ノ重要性ハ獨リ
林產物ノ關係バカリデアリマセヌノ
デ、國土保全ノ上ニ於キマシテ、治水
治山ト云フコトガ最も重要ナ問題デア
リマス、之ヲ民間ニ放出致シマス
ルコトハ、必ズシモ大目的ヲ達スル上
ニ於テ便利デアルトノミ申サレマセ
ヌ、併シ食糧問題ニ伴ヒマシテ、東北

地方ニ於ケル官有地或ハ開墾ニ適スル
ヤウナ採草地デアルトカ、放牧地デア
ルトカ、或ハ山林原野ノ如キモ、段々
ト開墾ニ當メラレテ行キマスルカ
ラ、幾分是正セラレテ行カトハ存ジ
マス、大體ニ於テハ、マダ國ノ計
畫トシテ之ヲ國有ニスルカ、或ハ民有
ニ開放スルカト云フヤウナコトハ出來
ナイデアリマス、尙ホ詳細ナルコト
ニ付キマシテハ、能ク當局ヨリ調査ヲ
致シマシテ、御答ヘ致シタイト存ジ
マス

○竹谷委員 大變御親切ナ御答辯有難
ウゴザイマス、兎ニ角自分デ自發的ニ
權利ヲ拋棄シタモノモアリマセウガ、
當然ニ民有トナルベキモノガ國有トナ
ツタ山林ノ多イノハ、政務次官御承知
ノコトデアラウト思ヒマス、然レニ國
有林野法ニ依リマス、緣故拂下ノ方
法ガアリマスガ、是ハ規定ノ方法モ嚴
格デアリ、又其ノ執行ニ當ツテモ情狀
酌量、斟酌スルコト云フ點ニ於テ缺クル
所ガ從來アツタデアリマス、其ノ地
方ニ取リマシテ是非地方公共ノ爲メ、
或ハ地方民ノ生活及ビ福利ヲ増進スル
爲ニ、必要ナモノニ付キマシテハ、政
府トシテ是ガ拂下ニ付テ十分御考慮
ランコトヲ希望スルモノデアリマス、
現在農村ハ幸力不辛カドウニカ食ヘル
狀態デアリマス、ケレドモ、私ノ考ヘル
所デハ、來年ナリ、再來年ナリニハ、
世界的ナ農產物ノ増產デ、農村恐慌ガ
來ララウト思ヒマス、其ノ時ニ東北
地方デ少年少女ガ二十圓ヤ三十圓デ
關西、關東方面ニ人身賣買サレルヤウ
ナ、サウシタ昭和初メニ於ケル農村
恐慌ガ來ナイトモ限ラナイ、殊ニ人口
過剰ノ際ハサウシタ危險性ガ多イノデ
アリマシテ、是非政府當局ハ、農林水

地方ニ於ケル官有地或ハ開墾ニ適スル
ヤウナ採草地デアルトカ、放牧地デア
ルトカ、或ハ山林原野ノ如キモ、段々
ト開墾ニ當メラレテ行キマスルカ
ラ、幾分是正セラレテ行カトハ存ジ
マス、大體ニ於テハ、マダ國ノ計
畫トシテ之ヲ國有ニスルカ、或ハ民有
ニ開放スルカト云フヤウナコトハ出來
ナイデアリマス、尙ホ詳細ナルコト
ニ付キマシテハ、能ク當局ヨリ調査ヲ
致シマシテ、御答ヘ致シタイト存ジ
マス

地方ニ於ケル官有地或ハ開墾ニ適スル
ヤウナ採草地デアルトカ、放牧地デア
ルトカ、或ハ山林原野ノ如キモ、段々
ト開墾ニ當メラレテ行キマスルカ
ラ、幾分是正セラレテ行カトハ存ジ
マス、大體ニ於テハ、マダ國ノ計
畫トシテ之ヲ國有ニスルカ、或ハ民有
ニ開放スルカト云フヤウナコトハ出來
ナイデアリマス、尙ホ詳細ナルコト
ニ付キマシテハ、能ク當局ヨリ調査ヲ
致シマシテ、御答ヘ致シタイト存ジ
マス

地方ニ於ケル官有地或ハ開墾ニ適スル
ヤウナ採草地デアルトカ、放牧地デア
ルトカ、或ハ山林原野ノ如キモ、段々
ト開墾ニ當メラレテ行キマスルカ
ラ、幾分是正セラレテ行カトハ存ジ
マス、大體ニ於テハ、マダ國ノ計
畫トシテ之ヲ國有ニスルカ、或ハ民有
ニ開放スルカト云フヤウナコトハ出來
ナイデアリマス、尙ホ詳細ナルコト
ニ付キマシテハ、能ク當局ヨリ調査ヲ
致シマシテ、御答ヘ致シタイト存ジ
マス

産立ツテ居ル東北地方ニ對シ、農林水産業ノ近代化ト言ヒマス、技術ノ高度化ト言ヒマス、經營ノ進歩的ナモノヲ採用シテ、サウシテ來タルベキ農村恐慌ニ對シテ、今カラ十分ノ準備ヲ整ヘテ對處セラレンコトヲ希望スルモノデアリマス、此ノ農業技術ノ高度化、或ハ機械ノ利用ニ付キマシテモ、此處ニ統計ガアリマススケレドモ、面積ノ割合ニ電動機ヤ石油發動機ノ馬力數モ、或ハ農業機械、動力機械ノ數字モ、全國ト比ベテ半分位低イノデアリマス、凡ル方面ニ今カラ農業ノ高度化ガ圖ラレナケレバ、來ルベキ農業恐慌ノ時代ニハ、一番初メニ慘メナ狀態ガ襲フテ來ルノハ東北地方デ、順次他地方ニ及ブノデアリマス、ドウゾ國有林ノ問題ハ、東北地方ガ居ラレテ來タ、經濟的ニ非常ニ不平等、非民主的ナ狀況ニアツタト云フ著シイ例デアリマス、其ノ他ノ農林水産業方面ニ於テモ、殊ニ著シイノデアリマスガ、是コソハ新憲法ノ下、民主的國家ノ方向トシテ、東北地方ノ非常ニ不平等ノ經濟的不平等ノ狀況ヲ、早ク除去スルコトガ、先づ國民ノ經濟的自由平等ヲ確保スル第一著手デアリ、事非常ニ多人數ニ及ブ重大事デアラウト思ヒマス、殊ニソレガ農林水産業局ノ施設ニ掛ツテ居ルデアリマス、之ヲ會計法ノ委員會ニ申上ゲルノハドウカト思ヒマスガ、國有林ノ問題ニ因ンデ私ノ愚見ヲ申上ゲテ、農林當局ノ御考慮ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス

ガ、先ヅ今日ノ天候カラ申シテ、日本内地ニ於ケル作物ト言ヒ、又「アメリカ」ノ通信ニ依リマシテモ、明年「アメリカ」ニ於テ食糧ノ過剩ガ六百五十萬「トン」以上ニモ及ブラウト云フノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ關係ガ東洋方面ニモアリマスレバ、或ハ食糧ノ過剩ヲ生ジ、價格ノ低落ヲ來シ、隨テ今マデ非常ニ生活費其ノ他ノ負擔ノ多クナツテ居リマシタ農村ニハ、痛棒ヲ喰ハスコトニナルデアリマセウ、殊ニ農ヲ以テ大體ノ經濟關係ト致シテ居リマスル東北地方ニ於キマシテハ、其ノ打擊ヲ受ケルコトガ一層強カラウ存ジマス、是等ニ付キマシテハ、ヤハリ獨リ農林關係バカリデナク、他省コトガ大切ナル存ジマス、御意見ニ對シテハ當局ト致シマシテモ慎重ニ善處致シタイト存ジマス

○坂東委員長 他ニ御質疑ガゴザイマズナラバ此ノ際御願ヒ致シマス

○松本(七)委員 大藏當局ニ御伺ヒシタイノデアリマス、軍需補償ノ打切ニ關シマシテ、戰災保險ニ付テハドウ云フ風ニナリマスカ

○石原政府委員 其ノ問題ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲル譯ニ行キマセヌカラ、銀行局長ニ御質問ノ趣旨ヲ傳ヘテ、然ルベキ時ニ申上ゲタイト存ジマス

マデモ大キナ任務ヲ背負ツテ行カナケレバナラヌ教育ノ問題、殊ニ私學ノ獎勵ト云フコトカラ考ヘマシテモ、戰災ヲ受ケタ私學ト云フモノガ、現在此ノ問題デ非常ニ苦シンデ居ル、隨ヒマシテ、若シ戰災保險マデ補償打切ガ及ブ場合ニ、私學ノ戰災保險ニ關シマシテハ何等カ特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルト思ヒマス、其ノ點ニ對スル政府ノ所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○坂東委員長 只今ノ御質問ニ對シテハ、後カラ見エルト云フコトデスカラ、他ノ方向カゴザイマセヌカ——青木君

○青木(孝)委員 大藏省ノ石原政府委員ノ御答ヘニナレル範圍ハ、大體ドウ云フ方面デゴザイマセウカ

○石原政府委員 私ハ大體主計局ノ法規ノ關係ヲヤツテ居リマス、會計法規ガ私ノ本來ノ専門デアリマス、前ノ御尋ネノ、戰災保險ノ問題ニ付テハ政務次官ガ見エルト云フコトニナツテ居リマズ

○青木(孝)委員 ソレデハ一寸御伺ヒ致シマス、朝鮮、臺灣ニ於ケル簡易生命保險ノ契約口數ト、其ノ金額、是ハ今後ニ於テドウ云フ風ニ處理セラレルモノデアルカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

マデモ大キナ任務ヲ背負ツテ行カナケレバナラヌ教育ノ問題、殊ニ私學ノ獎勵ト云フコトカラ考ヘマシテモ、戰災ヲ受ケタ私學ト云フモノガ、現在此ノ問題デ非常ニ苦シンデ居ル、隨ヒマシテ、若シ戰災保險マデ補償打切ガ及ブ場合ニ、私學ノ戰災保險ニ關シマシテハ何等カ特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルト思ヒマス、其ノ點ニ對スル政府ノ所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○坂東委員長 只今ノ御質問ニ對シテハ、後カラ見エルト云フコトデスカラ、他ノ方向カゴザイマセヌカ——青木君

○青木(孝)委員 大藏省ノ石原政府委員ノ御答ヘニナレル範圍ハ、大體ドウ云フ方面デゴザイマセウカ

○石原政府委員 私ハ大體主計局ノ法規ノ關係ヲヤツテ居リマス、會計法規ガ私ノ本來ノ専門デアリマス、前ノ御尋ネノ、戰災保險ノ問題ニ付テハ政務次官ガ見エルト云フコトニナツテ居リマズ

○青木(孝)委員 ソレデハ一寸御伺ヒ致シマス、朝鮮、臺灣ニ於ケル簡易生命保險ノ契約口數ト、其ノ金額、是ハ今後ニ於テドウ云フ風ニ處理セラレルモノデアルカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

アリマスルガ、之ニ關シマシテハ、政府ト致シマシテハ、出來ルダケ復興ノ出來ルヤウニ考慮致シタイト存ジテ居リマス

○松本(七)委員 出來ルダケ私學ノ復興ニ對スル考慮ヲ拂ハレルト云フコトデスカ、何カ戰災保險ニ關シテ、之ニ特別ノ措置ヲ講ズルトカ、或ハソレガ出來ナイ場合ニ、何等カ別ナ方法ヲ以テ獎勵助長ヲスルト云フヤウナ、具體的ナ御考慮ハアリマスカ

○上塚政府委員 目下專ラ考究中デアリマシテ、戰災保險ニ特別ノ設ケルカ、或ハ他ノ方法ヲ以テスルカト云フコトニ付テハ、申上ゲ兼ネマス

○松本(七)委員 現在マデマデ御話ガ承レナイナラバ、別ナ機會ニ御伺ヒシタイト思ヒマススケレドモ、兎ニ角教育ノ問題ト云フコトハ、是カラノ日本ニ於テ、我々ハ最も重要ナ問題デアラウト思ケレバナラヌ重要ナ問題デアラウト思ヒマス、特ニ明治維新以來ノ文教ト云フモノノ誤リガ、今日ノ狀態ヲ招イタ、極端ナ軍國主義、國家主義ヲ容易ニ受入レタ、其ノ根本ノ大キナ責任ハ、私ハ文部省ノ教育ニアル、斯ウ云フ風ニ痛感シテ居リマス、ソレヲ考ヘマシテモ、今後ノ教育方面デ、特ニ私學ノ振興ト云フコトニ最も重點ヲ置カレナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ面カラモ私學ノ復興ニ付テ、最も順調ニ之ヲ運ブ必要ガアル、斯ウ云フ觀點カラ、一ツ卑屈ニナルコトナク、此ノ私學復興ニハ大イニ力ヲ入レテ戴キタイ、之ヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○田中(實)委員 政務次官ノ御出席ヲ戴キマシタノデ、特ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、或ハ此ノ案ニ直接關係ガ

ナイカモ存シマセヌガ、併シ私ハ何等
カノ點ニ於テ一脈ノ關聯ガアルト思ヒ
マス、一應御尋不致シタイト思ヒ
マス、税ノ民主化ト申シマスルカ、少
クとも我が國ハ終戦後平和國家建設ノ
爲ニ税制ノ民主化ヲ確立シナケレバナ
ラヌト私ハ思フテ居ルノデアリマス、
即チ税制ノ面カラ戰時色ヲ完全ニ拂拭
シナケレバナラヌト云フコトヲ、私ハ
考ヘテ居ル、「ボツダム」宣言ヲ受諾シ
伴ヒマシテ、當然是等ノ面ニ於テ整理
ヲ致サナケレバナラヌコトハ申スマデ
モナイコトデアリマシテ、今日御提案
ニナツテ審議致シテ居リマスルノモ、
サウ云フヤウナ意味ガ多分ニアルト思
ヒマスガ、サウデナクシテ、政府自ラ
ガ自發的ニ、戰時中ニ行ハレタ所ノ税
ノ面ニ於テ、新シイ民主國家ヲ建設
スル上ニ於テノ障礙トナルヤウナモノ
ハ、自主的ニ之ヲ排除イテ行カナケレ
バナラヌト云フコトヲ、御考ヘナツテ
居ラナケレバナラナイト私ハ考ヘマス、
其ノ最モ大キナモノハ、一ツトシテ申上
グタイト存ジマスルノハ、物品税並ニ
遊興飲食税、特別行爲税、興行税、是
等ノモノハ、我が國ガ戰時ノ財政ヲ賄
フ下ニ於キマシテ、窮餘ノ策トシテ相
當ノ無理ヲ致シテ、アア云フヤウナ税
制ガ出來タノダト考ヘテ居ルノデアリ
マシテ、殊ニ其ノ徵稅技術ノ點ニ於キ
マシテハ、末端ノ混亂セシメテ居ル、
是ガ爲ニ將來日本ノ國ガ立直ラウトス
ル上ニ於テ、大キナ障礙ニナツテ居ル
ト云フコトハ、爭ハレナイ事實ダト思
ヒマス、殊ニ是ガ徵稅技術ガ非常ニ困
難デアリマスル關係上、日夜努力ヲ致
シテ居ラマスル所、稅務官吏ノ面ニ
於テモ相當無理ガアツテ、又納稅ヲ致
ス面ニ於テモ、快ク本當ニ納得シタ納

稅ガ出來ヌ面ガ多分ニアル、又甚シイ
コトニナリマス、過日憲法ノ委員會
デモ御説ガアツタヤウニ拜聴致シテ居
リマシタガ、今日人民ノ基本人權ヲ尊
重シナケレバナラヌト云フ大切ナ時ニ
當リマシテ、獨リ警察官並ニ司法當局
ノミナラズ、此ノ忘レ勝チデアル所ノ
稅務官吏ニ動トモ致シマス、人権ヲ
蹂躪スルヤウナ行動ガ現ハレテ居ル、
私ノ存ジテ居リマスル範圍内ニ於キマ
シテモ、少クとも戰時中ニ於キマシテ
ハ非常ニ平和な家庭ヲ混亂セシメ、延
イテハ生命ヲモ斷ツタト云フヤウナコ
トガ、此ノ末端ノ混亂ノ事情ニ依ツテ
現ハレテ居ルコトモアルヤウデアリマ
ス、ソコデ、恐ラク終戦後ノ大切ナ是
等ノ財政ヲ切盛りサレル上ニ於テ、相
當大キナ此ノ財源ヲ他ニ見出スト云フ
コトニ付テ、大イニ困難難ナ點モアル
ドラツト思ヒマスガ、斯様ナ惡税の性
格ヲ持ツタモノハ、此ノ際速カニ之ヲ
廢止致サレマシテ、他ノ方法ニ於テ、
是ダケヲ豫算ヲ取上ゲルト云フヤウナ
御考ヘヲ御持チニナツテ居ルカドウ
ハ、承ル所ニ依リマス、特別行爲税
ハ之ヲ御廢止ニナルヤウニ聞イテ居
マスガ、遊興飲食税等ニ付キマシテ
ハ、私ハサウ云フヤウナ御意思ガナイ
ヤウニ聞イテ居リマス、此ノ遊興飲食
税等ハ、今日遊藝事件其ノ他デ、相當
世論ヲ喧シク致シテ居リマスルモノニ
モ大キナ關係ガアル、物品税亦然リデ
アリマス、國民ノミシ等ノ點ニ於
テ、非常ニ無理ナ、ヤリニクイ徵稅技
術ヲ用ヒテヤツテ居ルト云フコトヲ何
處マデモ持續シテ、國民ニアラザル人
ニハ門戸ヲ開放シテ、所謂治外法權的
ヲ取扱フシテ居ルト云フ所ニ、今日ノ
社會不安ヲ醸成スル一ツノ原因ガアル

コトモ、爭ハレナイト思ヒマス、ノデ、
是ハ何レノ角度カラ考ヘマシテモ、拔
本的ニ御處置ヲ願フト云フコトガ、最
モ緊要ナルコトドラウト思フノデアリ
マス、此ノ點ニ付キマシテ伺ヒタイ
ト思ヒマス
○上塚政府委員 御答ヘヲ致シマス、
稅制ノ上カラ戰時色ヲ一掃スルコトヲ
コトノ急務デアリマスルコトハ、我々モ
洵ニ御同感デアリマス、隨テ政府ト致
シマシテモ、出來ルダケ速カニ戰時色
ヲ一掃スル考ヘヲ以テマシテ、現ニ其
ノ方針ヲ以テ進メテ居リマス、近ク提
案致サレマスル租稅法案ニ於キマシテ
モ、既ニ發表セラレマシタ通り、物品
税ノ一部、ソレカラ特別行爲税等ニ付
キマシテハ廢止スルコトニナツテ居
マス、尙ホ稅制ノ根本ニ付キマシテ
ハ、今日戦後色々ノ費用ガ嵩シデ居
マスル譯デアリマスルカラシテ、直チ
ニ根本的ノ改革ヲナスコトハ出來マセ
ヌケレドモ、是モ稅ノ根幹デアル所得
稅ヲ中心ト致シマシテ、租稅體系ノ確
立ヲ圖リタイト云フ考ヘヲ以テ進ンデ
居ルノデアリマス
○田中(實)委員 只今ノ御答辯ニ依リ
マシテ一應ノ承致シマシタガ、尙ホ重
ネテ御尋ね致シタイト存ジマスルノハ、
先程私ガ申上ゲマシタヤウニ、末端ニ
於ケル稅務官吏ノ徵稅ニ對スル態度其
ノ他ガ、非常ニ非民主的デアルト云フ
コトガ、非常ニヤカマシイノデアリマ
シテ、警察官ハ非常ニ民主的ニナツ
タ、又司法官ノ人權蹂躪ト云フヤウナ
コトモ、此ノ機會ニ一掃サレル氣運ニ
至ツテ居ル、獨リ稅務官吏ノミガ、動
トモスレバ此ノ權力ノ域ヲ超越エタヤ
ウナ立場ニマデ踏ミ入ツテ、サウシテ
多數ノ國民ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケテ居ル

ト云フヤウナ點ガ、所在ニ散見サレル
ノデアリマス、是ハ固ヨリ本省ニ於カ
レマシテモ、當ニ嚴ナル訓戒ヲ與ヘテ
居ラル、コトハ存ジマスレドモ、
今日ノ食生活並ニ國民ノ生活ノ上ニ、
非常ニ困難ガ生ジテ參リマシタ關係
上、是等ノモノハ一聯ノ繋リヲ持チマ
シテ、茲ニ思ムベキ末端ニ於ケル色々
ナ行動ガ見出サレテ居ルト云フヤウナ
コトモ、私ハ敢ヘテ之ヲ事實ナリト斷
定スルコトハ、此ノ際差控ヘタイト思
ヒマスガ、左様ナ事實ニ近イヤウナ噂
ヲ聞クト云フコト自體ガ、稅務官吏ノ
名譽ニ懸ケテモ、又大藏當局ノ威信ノ
爲ニモ、是ハ何處マデモ急速ニ御戒飭
ヲ加ヘテ戴キ、同時ニ左様ナコトノ起
ラヌヤウナ方法ヲ講ジテ戴クト云フ
コトガ、最モ大切ナコトデアルト思ヒマ
スガ、之ニ對スル御所感ヲ承リタイ
ト思ヒマス
○上塚政府委員 御答ヘ致シマス、稅
務官吏ノ行過ギニ對スル御質問デアリ
マスガ、元來大藏省ノ各職務ノ中デ
モ、稅務官吏ト云フモノハ一番惡い立
場ニ置カレテ居リマシテ、普通ノ役人
デアレバ國民ヲ喜バセルト云フコトガ
多イノデアリマスガ、稅務ダケニ限リ
マシテハ、ドウモ憎マレ役ニ廻ルコト
ガ常態トナツテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、サモナクテモ攻撃ノ的ナルヤ
ウナ狀態デアリマシテ、洵ニ氣ノ毒ナ
イト思フノデアリマス、多數ノ稅務官
吏ノ間ニハ、或ハ御説ノ如ク行過ギノ
人モアルカモ知レマセヌケレドモ、
此ノ點ニ付キマシテハ、能ク事情ヲ、
政府トシテモ調べマスケレドモ、御質
問下サイマシテ、又納稅者ノ方ニ於テ
モ、時ニ稅務官吏ガ已ムヲ得ズサウ

云フ立場ニ出ヅルヤウナ態度ヲ執ルコ
トモアルノデアリマスカラ、此ノ點ニ
付テハ大藏省トシテモ十分ニ警戒ヲ加
ヘマシテ、今後サウ云フコトハ頻發シ
ナイヤウニ致シタイト思ヒマスレドモ、
モ、納稅者トシテノ國民ノ側ニ立シテ
モ、出來ルダケ我々ノ仕事ニ御協力ヲ
御願ヒ致シタイノデアリマス
○田中(實)委員 御説ノヤウニ、稅務
官吏全般ニ互ツテ、サウ云フヤウナコ
トガアルトハ申上ゲラレナイノデアリ
マスガ、偶々行過ギデアリ、又誤ツタ
行動ヲサレル人ノ爲ニ、全稅務官吏ガ
誤リ傳ヘラレルト云フコトハ、洵ニオ
氣ノ毒ナコトデアル、其ノ點ハ私モ了
承シテ居リマスガ、併シナガラ私ノ事
實承知シテ居リマス實務ノ問題カラ考
ヘマシテ、非常ニ是ハ國民ニ惡い影響
ヲ與ヘル、此ノ平和國家ヲ建設スル上
ニ於テノ、國民ノ政府ニ對スル信頼ト
協力ヲ裏切ルガ如キ事實ヲ、私ハ存ジ
テ居ルノデアリマス、併シハ斯様ナ
公開ノ席上デ申上ゲルコトヲ憚リマス
ノデ、私ハ改メテ政務次官ニ御會ヒマ
シテ、其ノ實際ヲ御傳ヘ申シマシテ、
御善處願ヒタイト思フノデアリマス、
私ノ質問ハ是デ打ち切リマス
○青木(孝)委員 先程ノ私ノ質問ニ對
シテ、マダ御答ヘガナカッタヤウデア
リマスカラ、御答ヘヲ願ヒマス、質問
ノ要點ヲ申上ゲマスト、主トシテ臺灣、
朝鮮ガアリマスガ、簡易生命保險
ノ口數ト云フヤウナコトハ、後ニ又調
ベテ教ヘテ戴クト云フコトデアリマシ
タケレドモ、簡易生命保險ナリ郵便年
金、サウ云フ事業ヲ通シテ大藏省預金
部ト關係ガアル金額、或ハ其ノ他ノ關
係デ、例ヘバ國債トカサウ云フ風ナモ
ノデ、大藏省預金部ニ納入サレテ居ル

資金ト云フヤウナモノハ、臺灣、朝鮮
ヲ通ジテドノ位アルモノカ、或ハ今日
デハ全クサウ云フモノハナイノカ、其ノ
點ヲ一ツ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○上塚政府委員 其ノ點ハ取調ベマシ
テ、他ノ機會ニ御返答致シマス、或ハ
書面ヲ以テ御答ヘスルカモ知レマセヌ

○青木(孝)委員 此ノ間新聞ニ出テ居
ッタノデアリマスガ、只今御質問致シ
マシタ關聯事項ト致シマシテ、日本ニ
於ケル短期公債ト云フ意味デ、大藏省

證券ノ發行ト云フヤウナコトニ依ツ
テ、今後相當廣大ナ資金ヲ賄ツテ行カ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、現在大藏省預金部ニ引受ケテ居リ
マスル所ノ、大藏省證券及ビ國債ガド
レ位ナ額ニ上ツテ居ルカ、ソレカラ、

斯様ナ短期公債ヲ發行スルト云フコト
ニナリマスルト、預金部資金ニ對スル
運管上ノ限度ガアツテ、モウ既ニ今年

度ニ於テハ其ノ限度ニ達シテ居ルト云
フヤウナコトガ、新聞ニ出テ居ッタノ
デアリマスガ、其ノ限度ハ如何ナル額

デアルカ、斯フコトヲ先ヅ一應御
伺ヒ致シタイと思ヒマス

○上塚政府委員 本年度政府資金ヲ得
ル爲ニ、大藏省證券等ヲ發行スル必要
ハ相當出テ參ルト思ヒマス、今年ノ豫

算ヲ見マシテモ、歳入ハ歳出ヨリモ適
カニ少クナツテ居リマシテ、而モ其ノ
財源ヲ財產稅等ニ仰グト云フコトニナ

リマスレバ、自然財產稅ノ徵收サレル
マデノ間、短期公債、或ハ大藏省證券
等ヲ必要トスルト思ヒマス、ドノ位ソ

レガ必要デアルカ、又今日マデ預金部
ノ狀態ガドウ云フ狀態ニアルカト云フ
コトニ付キマシテハ、數字ヲ此處ニ持

ツテ居リマセヌカラ、先程御答ヘ致シ
マシタ通りニ、調ベマシタ上デ御答ヘ

マスルコトニ致シタイと思ヒマス
○青木(孝)委員 今日新聞ヲ拜見致シ
マシテ、今日ノ本會議ニ提出サレマス

ル豫算ノ全體ニ付キマシテハ、是ハ又
別個ニ豫算委員會ニ於テ質問ヲ致スト

致シマシテ、政府ハ、只今質問ヲ致
シマシタ事項ト關聯致シテ、今後通貨

ノ發行乃至ハ赤字公債ノ發行ニ懸ヘ
ケレバナラヌ場合ニ、既ニ關係方面カ

ラハ日本銀行引受ケト云フコトハ一應
差止メラレテ居ル、隨テ只今ノ御答辯
ガアリマシタヤウニ、短期公債ヲ以テ

賄ツテ行クト云フヤウナ風ニ御考ヘノ
ヤウデアリマスルガ、假ニ——是等ノ
モノヲ二百五十萬圓ノ財產稅徵收ヲ以テ

賄ツテ行カウト云フ所ニ、政府ノ大キ
ナ意圖ガアルヤウデアリマスルガ、一

體財產稅ノ徵收ニ關シマシテ、政府ハ
果シテ確信ガオアリニナルカドウカ、

此ノ問題モ再三到ル處デ質問サレテ居
ルヤウデアリマスルガ、今日ノ惡性

「インフレ」ト申シテモ宜イヤウナ現
在ノ狀態ニ於キマシテハ、事態ハ刻々

ニ變化ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨
ヒマシテ、斯ウ云フ點カラ見、更ニ世

間ノ噂ニ依リマスレバ、一切ノ補償ヲ
打切ラナケレバナラナイノデアハナイカ

ト云ツタヤウナ、一ツノ浮説モアルノ
デアリマシテ、サウ云フ關係ノ上ニ、

財產稅ノ收入二百五十萬圓ト云フモノ
ハ恐ラク現金ヲ以テ取上ゲルコトガ出

ウカト云フヤウナ問題ニ付テハ、極メ
テ抽象的ナ問題ニハナリマスケレド
モ、私ハ非常ニ困難ナ問題デアハリマ

ス、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアハリマ
ス、就キマシテハ、私共ト致シマシテ

ハ、預金部資金ト云フヤウナモノノ在
高、乃至ハ運管上ニ關スル委員會ノ今

年度ニ對スル定メ方、或ハ定メタ結果
年度ニ對スル定メ方、或ハ定メタ結果

存ジマスノデ、ソレ等ノ點ヲ一應我々
モ承知致シテ置キタイと思フノデアリ

マス、其ノ意味デ一ツ御分リニナリマ
スル部分ノ材料ヲ、特ニ御示シテ願ヒ

タイと思ヒマス
○上塚政府委員 承知シマシタ

○青木(孝)委員 是ハ他ノ省ニ關係ス
ルコトデアリマスガ、現在ノ日本ノ

地方鐵道及ビ軌道ト云フモノハドレ位
存在スルモノデアルカ、サウシテ此ノ

地方鐵道及ビ軌道ノ關係ニ於ケル納付
金ハ、大體年額幾ラ位アルモノデア
ルカ、斯ウ云フ點ヲ一應御伺ヒ致シ

タイ
○上塚政府委員 何レモ取調ベタ上デ
御答ヘ致シマス

○石原政府委員 一寸補足シテ申上
デマスガ、地方鐵道、軌道ノ納付金トシ

テ、今度ノ特別會計ニ上ゲマス金額ハ
二千八百五十一萬四千圓デアリマス、

是ハ昭和二十一年度ノ豫定額デアリ
マス

○江澤政府委員 預金部關係ノ數字ニ
付テ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ最

近ノ狀況ヲ今取調中デゴザイマスノ
デ、出來次第御手許ニ差上ゲルト云フ

コトデ宜シウゴザイマセウカ、少シ古
イ數字ハ手許ニゴザイマスガ、其ノ後

非常ニ資金ノ需要ガ多クアリマシテ、
大藏省證券其ノ他ヲ引受ケマシタ結果、

内容ガ非常ニ變ツテ來テ居リマスノ

午後零時十九分散會

昭和二十一年八月十日印刷

昭和二十一年八月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局